

立命館大学アート・リサーチセンター
文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点（ARC-iJAC）」
2023年度 国際共同研究 公募要項〔研究費配分型〕

立命館大学アート・リサーチセンターは、日本文化の有形・無形文化財のデジタル・アーカイブを研究テーマとし、文理連携による共同研究を推進してきました。2019年度には文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点にも認定され、デジタル・アーカイブ構築を一層進める環境を提供しています。その環境を活用することにより、研究者が自らデジタル・アーカイブを構築しながら日本文化研究を精力的に進められる拠点となっています。つきましては、以下のとおり国際共同研究課題を募集します。

1. 公募する国際共同研究課題

公募する共同研究課題は、(A) 国際テーマ設定型、(B) 国際個別テーマ型、(C) 個別テーマ型の3種類に区分されます。

<p>(A) 国際テーマ設定型： 本センターが設定する以下の研究テーマのいずれかに基づき、国際的な共同研究を行う課題</p> <ul style="list-style-type: none">① 海外の日本文化資源収蔵機関（博物館・美術館等）の収蔵品を、本拠点が提供するデジタルシステム基盤、ならびに技術のサポートをうけて、デジタル・アーカイブし、研究活動を推進する研究課題② 日本をはじめ、アジアやその他の地域の世界文化遺産・無形文化遺産の文化資源を本拠点が提供するデジタルシステム基盤、ならびに技術のサポートをうけて、デジタル・アーカイブを構築し、国際比較をも可能とする研究課題③ デジタル・アーカイブ技術により、デジタル・アーカイブを飛躍的に推進し、新たな文化資源の活用方法を提案して、国際的に社会に貢献する研究課題
<p>(B) 国際個別テーマ型： 各課題が設定した個別のテーマに基づき、<u>在外研究者（研究代表者）</u>が、本センターが提供する研究設備（データベースを含む）や、運用する以下に関する研究資源、それに関連する研究材料を活用し、国際共同研究を行う課題</p>
<p>(C) 個別テーマ型： 各課題が設定した個別のテーマに基づき、本センターが提供する研究設備（データベースを含む）や、運用する以下に関する研究資源、それに関連する研究材料を活用し、国際共同研究を行う課題</p>

本センターが管理する研究資源：

日本史学、歴史 GIS、日本美術・工芸、日本文学、日本
伝統芸能、日本映画、ビデオゲーム、テレビ CM 等

本資金のうち、(B)、(C)の区分は、拠点の研究環境を活用して研究を開始するためのスタートアップ資金として位置づけており、基本的に「継続」は認めません。2年目以降は研究設備・資源活用型、データベースシステム活用型プロジェクトに移行し、テクニカルサポート、データベース他のデジタル研究基盤（ARCリサーチ・スペース）を引き続き無料で利用することができます。なお、2022年度に採択された課題と同テーマにて2023年度も研究を希望される場合は、本格スタートできなかった理由を明確にして応募してください。

2. 申請資格

研究代表者は原則として、大学、研究機関等（博物館、美術館、図書館等を含む）に所属する研究者（大学院生は除く）とします。ただし、（B）国際個別テーマ型の研究代表者は、海外機関に所属している研究者（サバティカルで日本に滞在中の海外機関所属研究者を含む）とします。

3. 研究組織

- （1）研究組織は、一人（研究代表者）または複数の研究者（研究代表者及び研究分担者）で構成されます。
- （2）本センター所属教員（専門研究員・研究員・客員研究員は含まない）を研究分担者とすることを推奨しますが、本センター所属教員を研究分担者としない研究課題についても、本拠点のテクニカルサポートボードがバックアップしますので、採択後にご相談ください。

4. 研究期間

2023年4月1日～2024年3月31日（予定）

5. 研究費

- （A）国際テーマ設定型：70万円以内（予定）
- （B）国際個別テーマ型：40万円以内（予定）
- （C）個別テーマ型：30万円以内（予定）

※研究費は、研究に必要な経費で、本学の研究費執行基準に基づいて執行していただきます。

※研究費の執行管理は、本学事務局が一括して行います。

※設備備品費（50万円以上）並びに応募者が所属する大学、研究機関等の間接経費への執行はできません。

※（A）（B）（C）の区分を変更して採択する場合があります。

※申請額から減額して採択する場合があります。

※過年度も採択を受けた研究は、過年度の報告書が提出されていない場合、採択後も報告書を提出するまで予算を執行できません。

6. 申請方法

申請者は、「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点(ARC-iJAC) 2023年度国際共同研究申請書〔研究費配分型〕」を電子メールにて提出して下さい。申請書は本センターWebサイトからダウンロード可能です。

アート・リサーチセンター Webサイト

<https://www.arc.ritsumei.ac.jp/j/ijac/index.html>

応募期限 2023年1月20日（金）17時（日本時間）必着

提出先 立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内

アート・リサーチセンター事務局

E-mail: r-darc@st.ritsumei.ac.jp

申請受理後、翌営業日までに受理確認メールをお送りします。受理確認メールが届かない場合には、本センター事務局までご連絡ください。

7. 選考および採否通知

本拠点国際共同研究課題審査委員会にて審査いたします。審査結果は2023年3月下旬に研究代表者へ電子メールにて通知いたします。

選考にあたっては、以下の点を考慮して、評価いたします。

- ・本センターが運用するデータベースシステムやデジタル研究資源、それに関連する研究材料を活用し、国際共同研究を推進できるか。
- ・ARC リサーチ・スペースを活用し、自らデジタル・アーカイブ構築を進捗させ、研究を展開できるか。
- ・研究目的を達成するため、研究計画・研究経費は十分練られたものになっているか。
- ・国際展開の観点が研究計画に反映されているか。（「(A) 国際テーマ設定型」「(B) 国際個別テーマ型」のみ）
- ・国際的な活動展開が期待できるか。
- ・異分野融合・文理融合研究の視野を十分に持っているか。
- ・若手研究者（博士号取得後8年未満、大学院生（博士課程前期課程（修士課程含む）、博士課程後期課程）の育成に寄与する取り組みか。
- ・新型コロナウイルス感染拡大後の社会（With コロナ社会）における新たな研究活動の展開および成果発信が期待できるか。

8. 研究成果

- (1) 研究成果については拠点の紀要『アート・リサーチ』への投稿を奨励します。また、他の学術誌への投稿や研究成果のオンライン上での公開、データベースの拡充など、デジタル空間での積極的な研究成果発信についても積極的に取り組むようにして下さい。また、月2回開催している国際ARCセミナーにおいても、成果の発表や活動紹介ができます。
- (2) 研究期間終了後に、研究成果報告書を提出していただきます。なお、研究成果報告書は本センターのWebサイト、本センターが発行する紀要等で公開いたします。
- (3) 採択課題については、ARC Daysでの課題の概要発表、成果発表会での研究報告発表を義務とします。
- (4) 本研究の成果物（データベースのデータ部分を含む）に係る著作権は、著作者・制作者・創作者に帰属します。
- (5) 研究成果物については、特段の理由がない限り、他大学・研究機関の研究者等と共有することを原則とします。

※研究課題がデータベースに登載するコンテンツについては、その利用許諾可能レベルに応じて、一般公開、他のプロジェクトへの共有の可否のコントロールができます。

9. その他留意点

- (1) 研究代表者は、立命館大学衣笠総合研究機構の客員研究員として受け入れを行います。客員研究員は立命館大学および本センターの諸規則に従い、本学および本センターの所定の施設および研究設備・資源を利用することができます。また、本学のRainbowユーザーIDを取得することで、本学が契約するオンライン会議システム（Zoom）を利用することができます。

(最大参加人数 300 人)

- (2) 研究代表者は、原則として、所属研究機関の了解を得た上で申請を行ってください。また、研究分担者には研究代表者があらかじめ参加の内諾を得てください。
- (3) 若手研究者育成のため、本学大学院生の課題への参加をお願いすることがあります。
- (4) 研究経費欄を含め、申請書の記入に不備がある場合には、審査において減点対象となります。
- (5) 研究不正、研究費不正使用等の不正行為があった場合、または、本拠点の正常な活動を阻害したり、本拠点および本学に著しい不利益を生じさせたりしたと本拠点が判断した場合は、課題の採択を取り消すことがあります。

10. 問い合わせ先

立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター

文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点

「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点 (ARC-iJAC)」事務局

担当：森岡、久保、Emily

TEL：075-466-3411 (平日 9:00～17:30)

E-mail：r-darc@st.ritsumeai.ac.jp